

平成25年度 事業報告書

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで

特定非営利活動法人ハロハロ

1 事業実施の成果

平成25年度はフィリピンセブ市、シライ市、パヤタス市の貧困地域において地域住民の生活資質調査を行い、現状の貧困レベルの把握と地域のニーズ把握、今後の事業目標を現地協働団体と共有した。

また、日本国内では東京都中野区と千葉県印西市の事業所を拠点にしながら国際理解（消費購入の社会的責任に関する理解）を深めるための催事/講演会/体験学習会を定期的に開催し、多くの市民の参加と意識啓発につながった。このような催事を通して積極的な社会参加をしたいと当団体のボランティアに関わりはじめたり、サークル活動の中でフェアトレードに取り組み始めるなどの動きもあり、市民の参画への一歩につながった。

さらに、日本国内における国際理解（消費購入の啓発）事業として、フェアトレードについての理解を深める親しみやすい映像の制作を行った。

NPOとしての基盤を作るため会員を増やす努力も行き、本年は新規に13名の会員を獲得した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
生産者支援と交流事業	フィリピンの貧困地域の民間団体を訪問し現地調査をしながらフェアトレードの実践支援を行う	5月 8月	フィリピン (パヤタス シライ セブ)	1	日本の一般市民及びフィリピン貧困地域の人々約150人	335
フェアトレードの実践事業	自立を目指した物作りの環境整備支援（製作支援、品質管理、持続可能な輸入卸販売）	通年	フィリピン (パヤタス・ シライ・セブ) 及び日本全国	2	フィリピンの貧困地域の人々及び日本の一般市民約300人	486
国際理解と協力の啓発事業	各地の催事にて、消費購入の啓発を促す展示販売会および講演会。	2月 3月 4月	千葉県印西市、千葉市、船橋市、東京都中野区、港区ほか	5	催事開催地域周辺に生活する一般市民約10万人	159
	国際理解を深める懇親会、報告会の実施	3月 7月 12月	東京都中野区、中央区、港区ほか	3	日本国内の市民約100人	
	国際理解を広げる映像作品づくり	11月12月	東京都	5	日本の市民約100人	
上記の目的を達するために必要な全ての事業	セブ市火災緊急支援および台風被災地緊急支援	9月10月11月 12月	日本全国およびフィリピン被災地域	2	被災者多数	622